

令和3年度 第1回清瀬市地域自立支援協議会

会議録

日時 令和3年5月10日(月) 午前10時00分～10時45分

場所 清瀬市役所4階 研修室2.3

出席者

(委員) 岩澤 寿美子、白井 久美子、岡村 康男、奥山 裕司、菊間 英子、齊藤 靖之、富永 健太郎、外山 裕介、橋本 修一、深堀 清美、宮寺 孝、山崎 昭浩、渡邊 誉浩 (五十音順)

(事務局) 八巻 浩孝(福祉・子ども部長)、新井 勘資(障害福祉課長)、力村 洋平(障害福祉課副参事)、志村 雅子、山田 周太郎(障害福祉課)

開会

福祉・子ども部長 八巻 浩孝より開会のあいさつ

議題1 委員改選について

・委嘱状配付、委員自己紹介 【資料1】

・会長、副会長選出

富永委員が会長に、深堀委員が副会長に推薦される

⇒全会一致で賛成。富永委員が会長に、深堀委員が副会長に就任。

富永会長、深堀副会長よりあいさつ

議題2 令和3年度清瀬市地域自立支援協議会について

事務局 令和2年10月より清瀬市地域自立支援協議会は、清瀬市附属機関の設置に関する条例に基づき、市の附属機関となった 【資料2】

年間スケジュールについて説明 【資料3】

議題3 令和3年度清瀬市地域自立支援協議会本会案件について

事務局 本会案件について説明

【資料4】

議題4 令和3年度専門部会について

【資料5】

事務局 地域生活支援拠点を立ち上げる準備のため、新規に専門部会の中に地域生活支援拠点部会を立ち上げ、検討をお願いしたい。

・子ども部会

委員 子ども部会では、放課後デイサービス事業所、児童発達支援事業所、特別支援学校等に所属する14事業所の部会員に意見を伺っている。今までは虐待予防の研修に力を入れ実施した。家庭内の虐待も予測されるが、事業所内の虐待も予測される。

障害者家族が新型コロナウイルスに罹患した場合の対応策を協議し、情報交換や対応困難事例をあげて検討している。

・権利擁護・差別解消部会

委員 権利擁護・差別解消部会では、6名の部会員に意見を伺っている。虐待の内部研修を実施してきた。事務局会議の中でも、小さな事業所も参加できるような研修会をどのように実施すれば、有効なのか相談していきたい。

会長 今年度、虐待予防の講演会をどのように実施していくか。小さい事業所への知識の習得や支援策を考えた時に、虐待予防の研修をどのように実施していくのがよいか課題となっている。学齢期については子ども部会の取り組みで研修等充実しているが、大人になってからの虐待が見えにくく、成人期にまだ課題がある。コロナ禍の中で感染予防に配慮し、どのように虐待予防研修を実施していくか検討が必要。

・相談支援部会

委員 相談支援部会では、10 事業所の部会員に意見を伺っている。昨年度はコロナ禍のため部会は会場で開催せず、部会員にアンケート調査を実施し、コロナ禍での相談支援事業所の現状と取り組みの共有を図った。今後も、部会員と課題を共有し、協議していきたい。

会長 コロナ禍における相談支援部会の在り方や相談支援や報酬改定による加算の考え方の整理等について検討をお願いしたい。

・地域生活支援拠点部会

事務局 地域生活支援拠点部会の活動目的について、平成 31 年 3 月厚生労働省障害保健福祉部障害福祉課作成リーフレット「地域生活支援拠点等の整備について」の抜粋資料を基に説明。障害者の重度化、高齢化や親亡き後を見据え、居住支援のための機能を整備し、障害者の生活を地域全体で支えるサービス提供体制を構築する。

地域生活支援拠点に必要な 5 つの機能のうち、今年度は「緊急時の受け入れ、対応」について、具体的に討議していきたい。

会長 地域生活支援拠点について補足すると、中長期的には 5 つの機能を整備していくが、清瀬市は、面的整備型を整備していく。②の「緊急時の受け入れ・対応」が近々の課題であり今年度の優先課題である。4 月の事務局会議では、成人期の事業所が互いに近い関係性がないと連携が円滑にできないため、地域生活支援拠点の検討でも連携を深めて検討していきたい。

事務局 緊急時の受け入れについて、家族が緊急入院して障害者をどこかに入所させたい場合、一番先に把握するのが相談支援専門員である。短期入所の受け入れ先の施設はどのようにしたら受け入れやすいかを検討し、相談支援専門員の意見も反映させたい。本日、了解を得られたら 7 月に向け準備していきたい。

委員 組織の話になるが、地域生活支援拠点部会に事務局の中の委員が参加し、部会の検討内容を報告する。又は、地域生活支援拠点部会の委員が、新たに事務局会議に参加し報告しないと課題を共有化できない。誰がその役割を担うか検討が必要。

事務局 後日検討し、回答する。

会 長 中長期ビジョンをもって検討していく。4月の事務局会議で検討した結果、今年度は緊急時の受入れについて検討していくことになった。会長はどのような立場で参加したらよいか。オブザーバーとしての参加でよいのか、部会員として参加がよいのか。

事務局 地域生活支援拠点部会の部会長を後日決めて、会長か副会長が部会に参加して頂けると運営しやすい。会長の役割については、後日回答する。

議題5 その他

【資料その他】

事務局 精神保健担当者連絡会の報告

精神障害者に対応した地域包括ケアシステムの構築のため、協議する場を設置した。アンケート調査を実施し課題となる4つのテーマについて2回のグループ討議を実施した。昨年度は困っていることを抽出し共有化を図った。今年度もグループワーク形式で討議していく。

以上